



バイオトロール 安全データシート

B1999 Fragrance-Free Antibacterial Spray

改訂日： 2015 年 6 月 3 日

1. 物質/混合物及び会社情報

1.1. 製品詳細

製品名: B1999 Fragrance-Free Antibacterial Spray

1.2. 物質または混合物の関連識別用途、並びに推奨用途

用途: 表面殺菌剤 希釈済み

1.3. 安全データシート提供者の詳細

会社名: Byotrol plc,

住所: The Innovation Centre, Sci-Tech Daresbury, Keckwick Lane, Daresbury WA4 4FS

電話番号: +44 (0) 1925 742 000

FAX 番号: +44 (0) 1925 363 099

ウェブサイト: www.byotrol.com

1.4. 緊急連絡先

電話番号: +44 (0) 1925 742 000 (午前 9 時から午後 5 時までの営業時間内のみ)

国の緊急電話番号 (24 時間対応): +44 (0) 844 892 0111 (イギリス国内のみ)

2. 危険有害性の要約

2.1. 物質又は混合物の分類

物理化学的危険性: 区分外

健康に対する有害性: Elicitation-EUH208

環境に対する有害性: 区分外

2.2. 表示事項

危険有害性情報: EUH208 ポリヘキサメチレンピグアニド塩酸塩を含む。アレルギー反応を誘発するおそれ

洗剤ラベル表示: <5% カチオン性界面活性剤

2.3. その他の危険性

本製品は PBT 又は vPvB に分類される物質は含まない

3. 組成及び成分情報

3.2. 混合物

ポリヘキサメチレンピグアニド塩酸塩	<1%
CAS No.: 27083-27-8	
M 値 (急性) = 10	

M 値 (慢性) = 1

分類

急性毒性、経口 4-H302 飲み込むと有害

急性毒性、吸入 2-H330 吸入すると生命に危険

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 1-H318 重篤な眼の損傷

感作性、皮膚 1B-H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

発がん性 2-H351 発がんのおそれの疑い

特定標的臓器有害性、反復暴露 1-H372 長期にわたる、または反復暴露により臓器の障害

水生環境有害性、急性毒性 1-H400 水生生物に強い毒性

水生環境有害性、慢性毒性 1-H410 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

ジデシルジメチルアンモニウムクロライド

<1%

CAS No.: 7173-51-5

EC No.: 230-525-2

M 値 (急性) = 10

分類

金属腐食性物質 1-H290 金属腐食のおそれ

急性毒性、経口 3-H301 飲み込むと有毒

急性毒性、経皮 4-H312 皮膚に接触すると有害

皮膚腐食性/刺激性 1B-H314 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 1-H318 重篤な眼の損傷

水生環境有害性、急性毒性 1-H400 水生生物に強い毒性

水生環境有害性、慢性毒性 1-H410 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

第四級アンモニウム化合物、ベンジル(C12-C16)アルキルジメチル、塩化物

<1%

CAS No.: 68424-85-1

EC No.: 270-325-2

M 値 (急性) = 10

M 値 (慢性) = 1

分類

金属腐食性物質 1-H290 金属腐食のおそれ

急性毒性、経口 4-H302 飲み込むと有害

皮膚腐食性/刺激性 1B-H314 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 1-H318 重篤な眼の損傷

水生環境有害性、急性毒性 1-H400 水生生物に強い毒性

水生環境有害性、慢性毒性 1-H410 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

全 R-フレーズと危険有害性情報の全文はセクション 16 に表示。

4. 応急措置

4.1. 応急処置について

〈吸入した場合〉 通常の使用において予想される条件下で、著しい吸入の危険性はないと考えられます。

〈飲み込んだ場合〉 吐かせようとししないでください。症状が重い場合や続く場合は、医師の診察を受けてください。水で口の中をよくすすいでください。多量の水を飲ませてください。意識のない人に口から何も与えないでください。

〈皮膚に付着した場合〉 推奨されるように使用された場合、皮膚刺激は発生しません。大量の水で洗い流してください。

〈目に入った場合〉 大量の水で直ちに洗い流してください。コンタクトレンズを外して、まぶたを見開いてください。少なくとも 15 分間洗浄し続け、医師の手当てを受けてください。

4.2. 最も重要な急性及び慢性の症状及び影響: 追加情報なし。

4.3. 緊急に医師の診察及び特別な治療が必要な徴候: 追加情報なし。

5. 火災時の措置

5.1. 消火剤

適切な消火剤: 二酸化炭素(CO₂)、粉末消火薬剤又は水噴霧。水溶性液体用泡消火薬剤

不適切な消火剤: 知見なし

5.2. 物質や混合物から生じる特別な危険性について

具体的な危険性: 知見なし

危険な燃焼生成物: 火災により有毒ガスや煙が放出されうる

5.3. 消防士のためのアドバイス

消火活動時の防護措置: 火災に応じた消火剤を使用する。適切な距離から通常の注意を払い消火活動を行う。水を噴霧して熱にさらされた容器を冷やし、危険が無ければ火災現場から移動させる。

特別な保護具: 正圧の自給式呼吸器(SCBA)と適切な防護服を着用する

6. 漏出時の措置

6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時の手順

非救急隊員: 火災の場合: 自給式呼吸器を着用する。防護服、手袋、眼と顔の保護具を着用する。不要な、保護具を着用していない人員を漏出場所に近づけない。あらゆる発火源

を取り除く。現場に入る前に閉空間を換気する

緊急時対応要員：自給式呼吸器を着用する。防護服、手袋、眼と顔の保護具を着用する。大量の水で希釈する。製品が環境へ無制限に漏出されないようにする。不要な人員を退避させる。

6.2. 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項：排水溝や水路、地面への流れ出るのを避ける。

6.3. 封じ込め及び清掃の方法と材料

清掃の方法：漏出物を砂や土、他の適切な不燃性の物質に含ませる。大量の水で希釈する。地方条例に従い封じ込め、廃棄物を処分する。

6.4. 他セクションの参照

他セクションの参照：追加情報なし

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1. 安全な取扱いのための注意事項

使用上の注意事項：火花を発生させない工具を使用する。眼への接触を避ける。

一般的な職業衛生に関するアドバイス：製品を使用する際には飲食や喫煙をしない。推奨される特定の衛生手順はないが、化学製品を扱う際は個人の良好な衛生状態を保たなければならない。

7.2. 配合禁忌を含む安全な保管のための条件

保管上の注意事項：熱、高温面、火花、炎、その他の発火源を避けて保管する。喫煙禁止。容器を立てて保管する。乾燥し、涼しく喚起の良い場所でオリジナルの容器にしっかりと閉じて保管する。凍結及び直射日光から保護する。酸化剤との接触を避ける。35℃を超えない温度で保管する。

保管クラス：指定なし

7.3. 特定の最終用途

特定の最終用途：追加情報なし

使用方法の説明：追加情報なし

8. 暴露防止措置及び保護措置

8.1. 管理パラメータ

職業暴露限界： 追加情報なし

8.2. 暴露管理

保護具



適切な技術的管理： 各作業シフト終了時や飲食、喫煙、及びトイレ使用前に手を洗う。

眼/顔の保護： 保護ゴーグルを着用する

手の保護： 手の保護は必要としない

呼吸の保護： 呼吸の保護は必要としない

9. 物理的及び化学的性質

9.1. 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

外観： 透明な液体

色： 無色から淡黄色

臭い： 独特のにおいがある

臭気閾値： 情報なし

pH 値： pH(濃縮液) 6.00~8.00

融点： 情報なし

初留点及び沸点範囲： 情報なし

引火点： 情報なし

蒸発率： 情報なし

燃焼性(固体、ガス)： 情報なし

高/低引火性あるいは高/低爆発限界： 情報なし

蒸気圧： 情報なし

蒸気密度： 情報なし

比重： 0.99-1.01@20°C

溶解性： 水溶性

分配係数： 情報なし

自然発火温度： 情報なし

熱分解温度： 情報なし

粘度： 情報なし

爆発性： 爆発性があるとは考えられない

酸化特性： 混合物自体が試験されてはいないが、原材料成分のいずれも酸化性の分類の基準を満たしていない

9.2. その他の情報

その他の情報： なし

10. 安定性及び反応性

10.1. 反応性

反応性： 通常の外界温度で、推奨されたように使用された場合、安定している

10.2. 化学的安定性

安定性： 通常の外界温度で、推奨されたように使用された場合、安定している

10.3. 危険な反応の可能性

危険反応の可能性： 通常の外界温度で、推奨されたように使用された場合、安定している

10.4. 回避事項

回避事項： 熱、高温面、火花、炎、その他発火源から遠ざける。喫煙禁止。

10.5. 配合禁忌物質

配合禁忌： アニオン性物質、次亜塩素酸、酸化剤

10.6. 危険な分解生成物

危険な分解生成物： 知見なし

11. 有害性情報

11.1. 毒性影響に関する情報

皮膚腐食性及び刺激性

皮膚腐食性及び刺激性： 区分外

眼に対する重篤な損傷性又は刺激性

眼に対する重篤な損傷性又は刺激性： 区分外

呼吸器感作性

呼吸器感作性： 区分外

皮膚感作性

皮膚感作性： 敏感な人で感作又はアレルギー反応を引き起こす可能性がある

生殖細胞変異原性

生体外での遺伝毒性： 区分外

生体内での遺伝毒性： 区分外

生殖毒性

生殖毒性-受精率： 区分外

生殖毒性-発達： 区分外

特定標的臓器毒性-単回暴露

特定標的臓器毒性-単回暴露： 区分外

特定標的臓器毒性-反復暴露

特定標的臓器毒性-反復暴露： 区分外

吸引性呼吸器有害性

吸引性呼吸器有害性： 区分外

12. 環境影響情報

12.1. 毒性

毒性： 指示通りに使用された場合、この製品は水生生物に有害とは見なされておらず、環境に長期の悪影響を引き起こすものとは考えられていない。

12.2. 持続性及び分解性

持続性及び分解性： 追加情報なし

12.3. 生物蓄積性

分配係数： 情報なし

12.4. 土壌中の移動性

移動性： 追加情報なし

12.5. PBT(難分解性、生物蓄積性、毒性を示す性質)及びvPvB(極難分解性で高い生物蓄積性を示す性質)評価の結果

PBT 及びvPvB 評価の結果： 追加情報なし

12.6. その他の悪影響

その他の悪影響： 追加情報なし

13. 廃棄上の注意

13.1. 廃棄物処理方法

一般情報： 地域の規制に従って廃棄物や使用済み容器を廃棄する。排水溝や水路、地面に排出しない。回収した流出物を入れた容器は、正しい内容物とハザードシンボルを適切に記載されていないといけない。

処分方法： 廃棄物の発生を最小限に抑えるか、可能な限り避ける。

14. 輸送上の注意

同製品は危険物の輸送に関する国際規則(IMDG、IATA、ADR/RID)の対象ではない。

14.1. 国連番号

非該当

14.2. UN 正式輸送品目

非該当

14.3. 輸送危険有害性クラス

輸送警告マークは必要としない

14.4. 容器等級

非該当

14.5. 環境有害性

環境有害物質／海洋汚染物質： なし

14.6. 使用者への特別な注意事項

非該当

14.7. MARPOL73/78 附則 II による貨物輸送及び IBC コード

MARPOL73/78 附則 II による貨物輸送及び IBC コード： 非該当

15. 適用法令

15.1. 物質又は混合物に固有の安全性、保健、環境規制/法規

国内規制： 追加情報なし

欧州立法： 物質及び懸望物の分類、表示、包装に関する 2008 年 12 月 16 日付け欧州議会及び理事会規則(EU)No.1272/2008(改訂済)

15.2. 化学物質安全性評価

化学物質安全性の評価は行われていない。

16. その他の情報

改訂日： 2015 年 6 月 3 日

改訂： 1

SDS 番号： 4715

完全な危険有害性情報

H290 金属腐食のおそれ

H301 飲み込むと有毒

H302 飲み込むと有害

H312 皮膚に接触すると有害

H314 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

H318 重篤な眼の損傷

H330 吸入すると生命に危険

H351 発がんのおそれの疑い

H372 長期にわたる、または反復暴露により臓器の障害

H400 水生生物に強い毒性

H410 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

EUH208 ポリヘキサメチレンビグアニド塩酸塩含有。アレルギー反応を誘発するおそれ

略語

AND： 内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

ADR： 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

ICAO： 国際民間航空機関

IMDG： 国際海上危険物規定

RID： 鉄道による危険物の国際輸送に関する規定

この情報は指定された特定の物質にのみ関連するものであり、その他の物質と組み合わせた場合や異なる方法で使用された物質には有効でない場合があります。記載内容は表示された時点において、同社の有する知識、信念、正確さ、信頼性において事実に基づいたものですが、その正確性、信頼性又は完全性に対して一切の表明又は保証を行わない。使用者による特定の使用において上記情報の適合性及び完全性の判断は使用者の責任の下で行うものとする。